

環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト

S-13 H28年度 公開成果発表会

# 持続可能な沿岸海域実現を目指した 沿岸海域管理手法の開発

『きれいで、豊かで、賑わいのある持続可能な沿岸海域実現』を目指し、統合的沿岸海域モデル(政策支援ツールとしての自然・社会・人文科学統合モデル)を構築するため、5つの研究テーマについて15の研究機関が相互に連携して研究を行っています。

参加費  
無料

2016年

11月30日(水) 10:00~17:00

大手町ファーストスクエアカンファレンス Room A

東京都千代田区大手町1丁目1-5-1 ファーストスクエア イースタワー2F

定員 先着100名

〔主催〕 公益財団法人国際エメックスセンター

環境省環境研究総合推進費S-13 「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発」に基づいて開催しています。

詳細はHPをご覧ください <http://www.emecs.or.jp/s-13/>

参加費  
無料

## プログラム

- 10:00 ~ S-13 全体紹介 柳 哲雄 国際エメックスセンター
- 10:15 ~ **テーマ1 閉鎖性海域・瀬戸内海における栄養塩濃度管理法の開発**  
 瀬戸内海の湾灘等海域特性に応じた管理手法の開発 西嶋 涉 広島大学  
 沿岸域の栄養塩循環に果たす藻場・干潟域の機能解明 多田 邦尚 香川大学
- 10:50 ~ **テーマ2 開放性内湾が連なる三陸沿岸海域における沿岸環境管理法の開発**  
 遷移する沿岸環境監視とそれを応用した沿岸海域管理法開発 小松 輝久 東京大学  
 志津川湾におけるカキ養殖を巡る栄養塩循環について 門谷 茂 北海道大学  
 森一海の物質輸送に果たす有機物の役割解明 吉村 千洋 東京工業大学  
 —志津川湾における溶存鉄の動態と生物利用性—  
 志津川湾における環境管理適正化に向けた粒状有機物動態の解析 西村 修 東北大学
- 13:00 ~ **テーマ3 陸棚・島嶼を含む国際的閉鎖海域・日本海の海域管理法の開発**  
 日本海における3階層管理 吉田 尚郁 環日本海環境協力センター  
 日本海低次生態系への東シナ海からの栄養塩輸送の影響 森本 昭彦 愛媛大学  
 日本海の将来環境変動予測 広瀬 直毅 九州大学  
 日本海重要生物の持続的利用のためのダイナミックMPA 郭 新宇 愛媛大学
- 14:05 ~ **テーマ4 沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示**  
 沿岸海域の生態系サービスの経済評価とサステナビリティ 仲上 健一 立命館大学  
 沿岸海域の多段階管理仮説とその適応可能性 日高 健 近畿大学  
 里海文化の多様性—魚食文化を中心に 印南 敏秀 愛知大学  
 対馬・五島における総合的海洋環境政策としての海洋保護区 清野 聡子 九州大学
- 15:30 ~ **総括、テーマ5 沿岸海域管理のための統合数値モデル構築** 柳 哲雄 国際エメックスセンター
- 15:50 ~ 総合討論
- 17:00 終了

公開成果発表会は、これまでの研究成果の発表と参加者の皆様との意見交換を通じ、情報共有・相互理解を促進し、今後の研究に活かすことを目的に開催するもので、S-13プロジェクト参加機関、行政機関、研究機関、関連団体、海域環境の保全・創造に関心のある皆様を主な対象としています。幅広い方々のご来場を心よりお待ちしております。

### 【参加申し込みについて】

参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上  
 (公財)国際エメックスセンターへメールまたはFAXでお申込みください。  
 \* 定員(100名)に達し次第、締め切ります。

### 【会場案内:大手町ファーストスクエアカンファレンス】



## 環境研究総合推進費 S-13 公開成果発表会 参加申込書

お名前	所属	役職等	電話	E-mail



### 【お問合せ・参加申込先】

(公財)国際エメックスセンター (担当: 四方・大輪)  
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号  
 TEL 078-252-0234 FAX 078-252-0404

HP <http://www.emecs.or.jp/s-13/>

人と防災未来センター 東館5階

E-mail [secret@emecs.or.jp](mailto:secret@emecs.or.jp)